

愛の一声運動 シリーズ(その一) 青少年の健全育成

☆町ぐるみみんなでつもう非行の芽

青少年を健全に育成することはみんなの願いです。

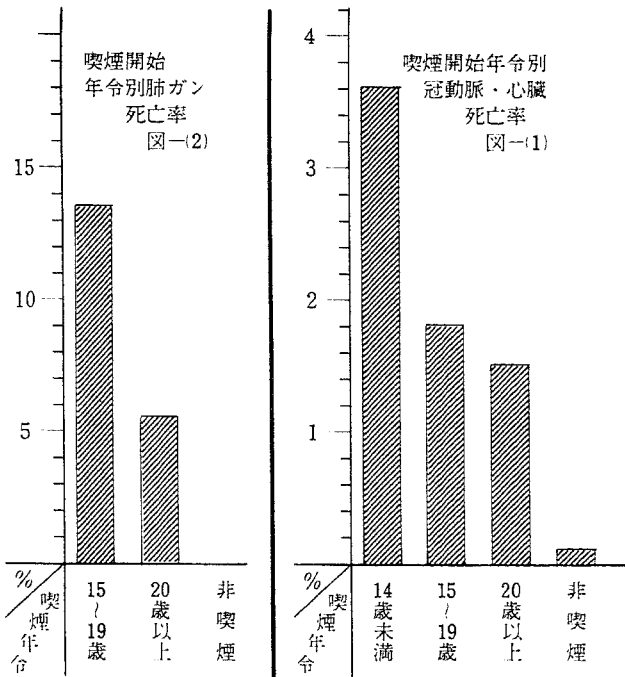
しかし、最近の社会情勢の変化によって、青少年の中には、助け合いや、はげまし合いの意識がうすらぎ、非行に走る青少年が増加する等、健全育成上好ましくない現象がみられます。

次代を担う青少年を健全に育成するため、市民ひとりひとりが関

心を高め、市民総力ウーンセラーとなり、この運動を強力に展開しましょう。

未成年者の喫煙
青少年の非行のはじまりは、喫煙からといわれています。

青少年のたばこによる害は(1)(2)で示すように、早くからたばこを吸った人ほど、また、たくさん吸う人ほどガンや心臓病等で死亡



善意ありがとうございます。

する割合は高くなっています。このように中学生や高校生からの喫煙はガンにかかりやすいといわれています。それと同時に好奇心で、こっそりかくれて吸い、それが常習化するに従い、類は友をよび、秘密から集団の結束を固め、悪の芽は次第に大きくなっていきます。

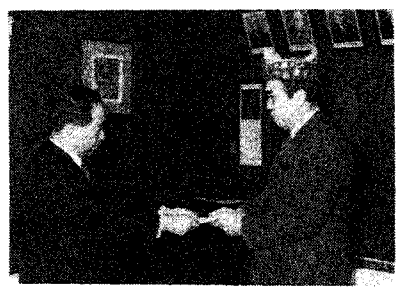
交通遺児に愛の手を

都留地区女性ドライバーの会(会員二一五名、会長原幸恵)より今年も市内の交通遺児に対して四六、三〇七円の義援金が贈られました。

現在、都留市内の小、中学校には一三名の交通遺児が元気で就学しております。市では、これ等の子供達のために都留市交通遺児就学援助会を作り就学援助金を支給しております。今回、寄贈されました義援金は、この会に入金させていただきます。

社会福祉事業に寄附

- 社会福祉の充実のため、つぎの方々から社会福祉事業援助資金の寄附が寄せられました。
- 社会福祉事業援助資金 四〇万円
- 地域老人クラブ活動援助資金 一〇万円
- 都留市下谷二丁目三一七 秋山一仁さん
- 重度身体障害者援助資金 三〇二万円
- 都留ライオンズクラブ
- 社会福祉関係事業資金 一〇万円
- 都留市上谷五丁目三一七 村松その江さん



▲ 都留ライオンズクラブ

都留カントリー倶楽部の大槻社長、佐藤常務のお二人が十二月二日、三日市役所に高部市長をたずね社会福祉事業にと、二〇〇万円を寄託されました。この寄附金は五十一年、五十二年に引続き寄託されたもので、五十三年の一月から十二月まで都留カントリー倶楽部を利用された方達の善意によって、利用料金中の一部を倶楽部側で、社会福祉事業費に充て今回寄託されたものです。

県体育功労賞の 上島当隆さん

東桂中学校弓道クラブへ 金一封を贈る



▲ 都留カントリー倶楽部

上島当隆さん(都留市夏狩、八十三歳)は老いて益々元気、かくしゃくとして腰も曲らない。「ああ、弓をひいてるからだ」という。この弓道への努力と精進、老いてもスポーツを捨てない情熱は、昭和五十三年度山梨県体育功労賞として輝いたのです。上島さんは東桂中学校が体育実験学校として「体力づくり」に励んでいることを聞き、土地の子どもたちが弓道を通して一層心身を鍛えてほしいと、受賞の喜びを真心こめて贈ってくださいました。